

# 日本胡麻協会 会報



一般社団法人  
日本胡麻協会  
Japan Sesame Association



【第1号 2013年4月1日発行】

〒604-0845

京都市中京区烏丸御池上る 二条殿町546

NT都ビル9階 わだまんサイエンス内

TEL: 075-222-7318 / FAX: 075-222-0318





Japan Sesame Association

日本胡麻協会  
理事長 深堀 勝謙

セサミマイスターの皆様へ

～未来へ～

日本は戦争後 焼け野原となりました。全く未来が見えなかった時代です。

そしてこのままではいけないと、ミッションを心に感じ行動し、仕事を通じて豊かさを求め、偉大な経営者や偉大な発明家をうみ、現代へ導きました。

豊かさは1989年まで高度成長期へと発展しました。

そのころ地上げ屋や財テクまで生み出され、バブル崩壊へと。

そして不況となり、大震災が起これ、各国の首脳がかわり、今となっています。アベノミクスで経済発展も進めています。

しかし…本当に我々は豊かさを求めているのでしょうか？

同じ道を豊かさだけのために向かう事が、本当の幸せなのでしょうか？

豊かさはきっと貧困な世界の人のため、また日本においては弱者〔視覚障害者、高齢者、主婦、こどもたち〕のため、愛のある食卓づくりのために進むべき道だと確信するのです。

平和な世の中が、未来を創るのです！『胡麻で世界平和！』皆で胡麻の輪を広げていきましょう！

感謝！

2013年4月

## ごま若葉青汁を使った食べ方

山田 一美

暖かくなってまいりましたが、みなさま、いかがお過ごしでしょうか？  
今回は、私の「ごま若葉青汁」のお気に入りの食べ方をご紹介させていただきたいと思っています。

ごまの専門店ふかほりで販売されている「ごま若葉青汁」を使います。

- ・ ごま若葉青汁                      1包
- ・ バナナ（凍らせたもの）      お好み
- ・ 牛乳                                      お好み

を、ミキサーで混ぜるだけです。

バナナは生のままでもいいですが、凍らせたならスムージーっぽくなっておいしかったです。

昨年の夏にはまってしまいました。  
また、今年の夏も作ってみようと思います。

京都ごまの専門店ふかほりのあやめ工場に勤務しておりましたが、  
引越しの為、退社する事になりました。  
引っ越しに伴い、念願のホームベーカリーを購入いたしましたので、  
ごま商品を使ったパンやおもちなどを作りたいと思います。

ありがとうございました。

有本 直恵

皆様、はじめまして。

このたびすてきなご縁をいただき、昨年8月よりセサミマイスターの仲間入りをさせて  
いただくことになりました有本と申します。

どうぞよろしく願いいたします。

また、社団法人日本胡麻協会発足というすばらしい時期に出会えたことも、とても  
うれしく覆います。

深堀社長はじめ、スタッフの方々のご苦労も大変だったと思いますが本当におめでとう  
ございます。

私は普段は、ごまとは全く関わりのない、機械メーカーに勤めている会社員です。

ですので、マイスターとしての活動や、協会のお手伝いをできる機会はとても限られて  
しまいますが、このご縁を大切に、できる範囲で胡麻の美味しさ、すばらしさを、伝  
えてくことができたらと思います。

『胡麻で世界平和を』までにはとても及びませんが『胡麻でほんの少しの幸せを』を目  
標として頑張っていきたいと思います。

時代のスピードと共に私たちの環境は豊かで便利になった半面、大事なものを忘れて  
しまったり、人間関係がぎくしゃくしたり、多くのストレスにもさらされがちです。

私自身もよく悩んだり、落ち込んだり、劣等感を感じたり。

でもふかほりの美味し～い金胡麻に出会ってから、そして深堀社長にお会いして色々な  
夢や活動のお話し、胡麻のお話をお聞きするたび、私も少しずつすてきなパワーをいた  
だけていることに気付きました。

また自分自身もマイナス思考からプラス思考に変える努力をすると自然に楽しいこと  
やうれしいことが増えてきていることにも気づきました。

これもひとえにゴマパワー？（金胡麻に出会ってから胡麻を食べる量も増えましたか  
ら）

深堀社長がいつもおっしゃっている“感謝の気持ち”を胸に、これからももっともっと  
人間として成長していけたらと思います。

そして次はマイスターの皆様方ひとりひとりの、どんなすてきなご縁が待っているの  
かなとわくわくしながら楽しみにしています。

皆様、どうぞよろしく願いいたします。

## 「胡麻にまつわる温故知新」

M11033 石田純子

胡麻インストラクター協会から日本胡麻協会へ、ますますのご発展お喜び申し上げます。

先日「中黄膏（ちゅうおうこう）」という軟膏（漢方薬）を購入する機会がありました。中黄膏には、火傷や擦り傷などの熱性・化膿性皮膚疾患をはじめ、汗疹・霜焼け・あかぎれなどの湿疹全般、打ち身・捻挫まで皮膚疾患を幅広くカバーする効果があります。購入のきっかけは、息子が野外活動で転んだときのかすり傷が化膿してしまったからです。

この中黄膏、なんと成分の大半が「胡麻油（34.7g）」です。他にも蜜蝋（13.2g）、鬱金（うこん）（1.4g）、黄柏（おうばく）（0.7g／いずれも50g中）が含まれていることがわかりますが、あらためて、胡麻に秘められた可能性を感じるとともに、セサミマイスターとしても心をくすぐられた出会いでした。

もうひとつ、中黄膏の蓋を開けてみて「軟膏の色が黄色い」ことにも驚きました。この黄色、JIS規格にある慣用色名では、まさに「中黄（ちゅうき）（JIS慣用色名：No.64）」にあたる色です。中黄とは印刷用のインクを指す色名ですが、定義上は「4色印刷の黄色より調和のとれた黄色らしい色」とされています。

慣用色名とは、一般に広く使われるようになった色名のこと、古くから浸透しているものもあれば、比較的最近になって浸透したものもあります。慣用色名を含む「物体色の色名（JIS Z 8102:2001）」は1957年に制定されていますから、近代にできた工業製品の産物を表現するための「中黄（ちゅうき）」というネーミングは、昔からあった漢方薬のネーミング「中黄膏（ちゅうおうこう）」から派生しているのかもしれない。ちなみに、中黄膏の成分中にある鬱金や黄柏もまたJIS慣用色名として定義されています。鬱金色（うこんいろ）はウコン<sup>※1</sup>の根そのものや鬱金の根で染めた強い黄色、黄檗色（きはだいろ）はキハダ<sup>※2</sup>の樹皮の内皮で染めた明るい黄色のことです。

※1 植物名：ウコン（鬱金）＝薬効：抗菌作用＝JIS慣用色名：No.58

※2 植物名：キハダ（黄檗、黄柏、黄膚）＝薬効：疼痛緩和や肝機能に作用＝JIS慣用色名：No.66

残念ながら胡麻そのものにまつわる色名は定義されていません。しかしながら、胡麻油を大半の成分とする昔からある漢方薬「中黄膏（ちゅうおうこう）」の名前が、時を超えて近代的なものを現す色名「中黄（ちゅうき）」に通じているであろうことは、シルクロードの時代を経て世界に広がった胡麻が、わたしたちの生活に蜜に関わっていることを象徴する新たな側面ではないでしょうか。